

20110219日本危機管理学総研\_議事録

日 時：2011年2月19日（土）15:00－17:50

場 所：東京・竹橋 ちよだプラットフォームスクウェア

テーマ：「アジア広域鉄道計画と中国のロジスティクス戦略」

発表者：岩間正春氏

株式会社オフィスイワマ 代表

早稲田大学アジア研究機構およびソーシャル・ロジスティクス研究所客員研究員  
（天津）南開大学客員教授

参加者：参加者 12人（発表者除く）

（経済評論家、NPO法人理事長、国際交流団体職員、大学教員、会社経営者、  
投資銀行、シンクタンク研究員、会社員、公務員、行政書士・司法書士など）

理事長から開会挨拶、戦略研／危機研の趣旨。→資料「戦略研概要」。

サマリー

中国における労働賃金が上昇しており、中国は国内政策として経済圏を「内陸部」と「北」へ進展させる動きを加速せざるを得なくなってきた。

経済圏構築にはインフラ整備、特に物流ルートの構築が不可欠である。

アジア・旧ソ連諸国との連携も見据え、中国は既存の「海上（＝船）」、「空路（＝A I R）」以外に「鉄路（＝鉄道）」に注目している。

こうした背景の下に、アジアでの広域鉄道網の展開、中国成長の「第三のエンジン：京津冀経済圏」をめぐる北東アジア循環ルート構築の動きが活発になってきている。

メモ（レジメ目次）

1. リーマンショック後に露呈した日本型グローバル SCM の失敗
2. アジア広域インフラ計画と鉄道
3. グローバル・ロジスティクスにおける3つの「if」
4. 中国の2011年・2012年
5. 中国が挑戦する更なる経済圏創生

6. 「経済地域創生」という考え方
7. 普通の国、そして成熟国になる日本
8. 国交省の提唱する日中韓シームレス物流
9. 「ソーシャル・ロジスティクス」という考え方

以上